

時経ちて ふと 思う

芽が出て 膨らんで 花が咲いたら
一緒に花を見ようと思っていたのに
もう 貴女はいない

貴女が この世に残した言葉は
私に 新たな芽吹きを促し
気づきを与えてくれる

そして 私は
我が家で咲いた花々を抱えて
貴女が暮らした島へ渡る

ひとり ぽつりと 浜辺に立ち
目を そっと閉じると
貴女との思い出が
走馬灯のように駆け巡る

私は次の世代に
どんな芽吹きを促せるのだろうか